



OLIVE ニュース 2020年10月号

月刊紙

11月の予定 5日 工賃支給 11日 避難訓練

「自助・共助・公助」

法人事務局 草野 晋

菅総理大臣の発言が波紋を呼んでいます。政策の基本姿勢について「自助・共助・公助」の順で考えているとの発言が問題になったのです。

「自助」とは自分で出来ることは自分で行う。「共助」とは周りの人と協力して行う。それでも出来ない部分を「公助」行政が行う。と順序を示したことが、「国としての基本姿勢、責任を放棄しているのではないか」と国会で問題になったのです。

さて、この発言を社会福祉の側面から見た場合にはどのように映るのでしょうか？

障害者総合支援法は、この考えに沿ったものです。障がいの方の出来ないところを支援するために作られた法律だからです。

一方で、介護保険はどうでしょうか、介護保険サービスは行政が行っている「公助」のサービスと誤解している方が多いのではないのでしょうか。介護保険は「共助」が基本です。40歳以上の方から保険料を徴収して、サービス報酬の財源としています。また、サービスを利用したお年寄りも自己負担として1割から3割の自己負担金を支払っています。

今では、有料の老人ホームやサービス付き高齢者住宅など「自助」の側面を持つサービスも多くなってきました。

これは、今後障がい者福祉にも当てはまっていくのではないかと感じています。

「行政に頼めばなんとかしてくれる」と思っている方も少なからずいると思いますが、行政が行う「公助」は「生活に困窮している」、「頼れる親族が誰もいない」方等、ごく一部の方に限られているのが現実です。

換気の大切さ

段々と気温が下がり寒い季節になってきました。寒いからと暖房をつけ部屋を締めきったままにしておくといんフルエンザやコロナウィルスの菌の温床となっています。事業所では換気の徹底をしています。ご家庭内でも換気をきちんとし、感染症予防にご協力ください。

マスクについて

感染症予防のための、マスクに関して以前も通知文でお知らせしましたが、今年度は事業所でまとめて購入することはしません。

各ご家庭でのマスクの準備をお願いします。



▼来年度のカレンダーは12月10日に配布予定です。3月までのカレンダーが必要の方は事務所に連絡ください

▼冬期に入り緊急事態が出され始めました。連日1000人2000人を超える感染者が多くなっています。利用者の方々は感染の意味、自粛の意味、マスク装着の意味すら理解しない方々が多くなります。マスクをつけて下さいという言葉は強制的とする利用者さんもあるかもしれませんが、みんながそれを守っているので95%の皆さまがマスクを付けています。またお出かけも(小旅行)ご協力を頂いている事に感謝申し上げます。

当事業所でクラスター発生が起きていない事はその成果だと思えます。これから換気が難しい時期になりますが、引き続きご協力をお願いいたします。

<寄付、物品寄贈の皆様> 根本フク子 様 白鷺 満喜子様 (順不同) ありがとうございました。